

デジタル技術を駆使した 需要創造型製品を グローバル市場に供給しています。

カシオグループは、カシオ計算機と連結子会社49社および持分法適用会社3社(2008年3月現在)によって構成され、「エレクトロニクス機器事業」と「デバイスその他事業」を展開しています。「エレクトロニクス機器事業」は、コンシューマ、時計、MNS(モバイル・ネットワーク・ソリューション)、情報機器の4部門、「デバイスその他事業」は、デバイス、その他の2部門により構成され、それぞれが開発・生産から販売・サービスにわたる事業活動を推進しています。

CASIO GROUP
Business Overview

コンシューマ部門

もっと便利に、 もっと楽しく。

毎日の生活を便利に楽しくするため、カシオは幅広い製品を送り出しています。

業務用や教育用などの幅広い用途に対応する電卓、初心者でも簡単に演奏をマスターできる電子楽器。カメラの代名詞となったデジタルカメラや電子辞書についても、業界をリードする新製品を絶えず開発しています。

デジタルカメラ

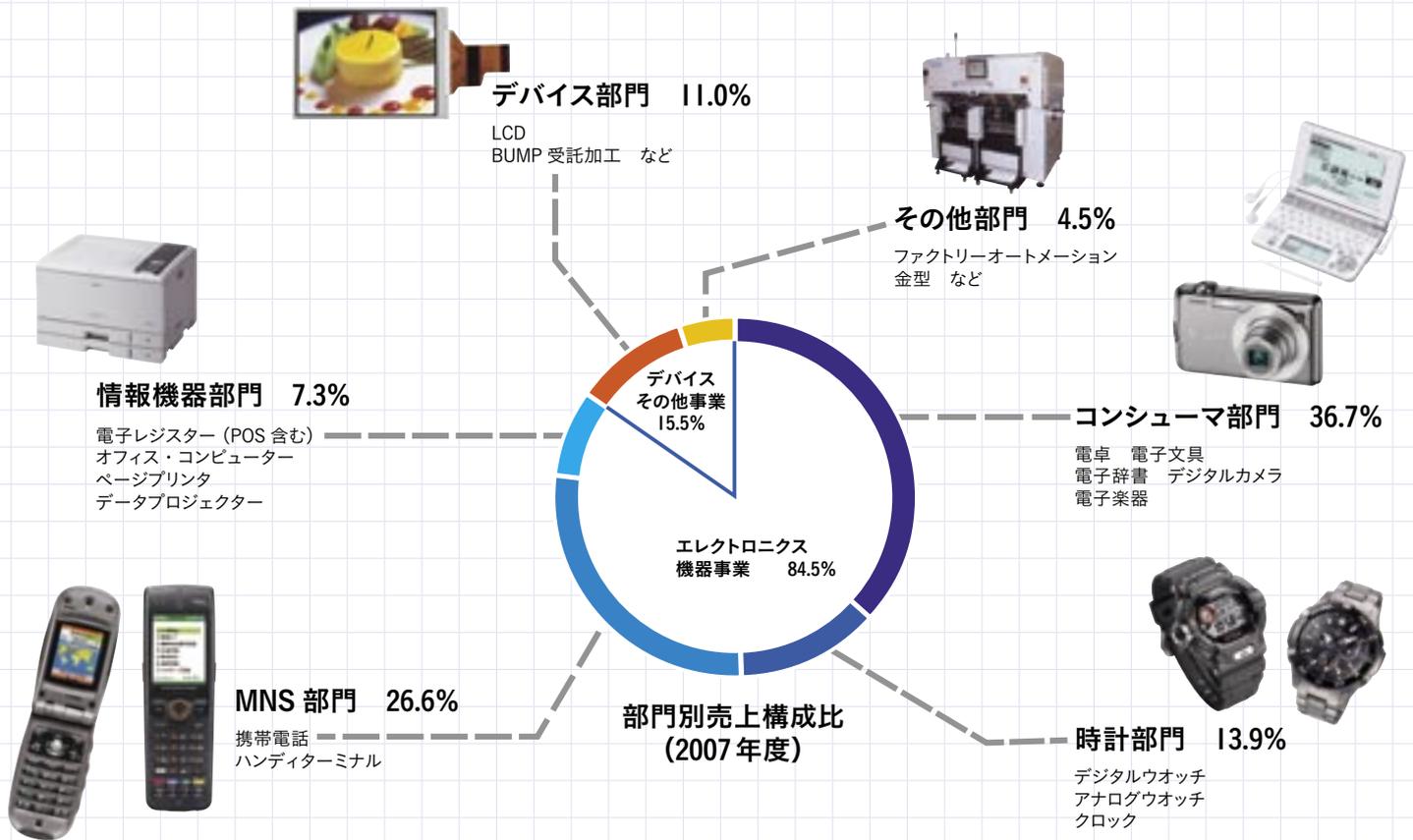
“EXILIM CARD” EX-S10

世界最小・最薄*の有効画素数1,010万画素モデル。厚さ15.0mm(最薄部13.8mm)の薄型ボディに、高精細 CCDと高コントラスト比・広視野角・高輝度の“高性能クリア液晶”を搭載しました。顔認識機能に加えて、笑顔の瞬間やブレが止まった瞬間を自動で撮影する“ブレ検出オートシャッター”など、カメラ本来の機能も進化させています。

※有効1,000万画素クラスのデジタルカメラとして。

2008年1月29日現在、カシオ調べ。





電子辞書 "EX-word" XD-SP6600

手書きパネルに加えて、メインパネルでも漢字を手書き入力できる、電子辞書初の“ツインタッチパネル”を装備しました。最新版の国語辞典「広辞苑 第六版」をはじめ、合計100種類の多彩なコンテンツを収録。英単語約10万語・日本語約1万語など、ネイティブ発音機能も充実した電子辞書です。

タッチパネルを使って さまざまな機能を提案

私たちが重要視していることは、ユーザーのニーズをしっかりと吸収した上で、技術開発と独創的企画を行い、オリジナリティのある商品を創造していくことです。

電子辞書に関しては、ユーザーの知る、聞く、学ぶといったニーズにより、今年のモデルは、より優れた操作性と学習機能の強化を目指し、ツインタッチパネル式を採用しました。

メイン画面にもタッチパネルを搭載することで、手書き認識はより便利に、また、タッチパネルを使ったさまざまな機能も提案しています。その大きな特徴は、1. 複雑な漢字はメインパネルで大きく手書きできる、2. 書いて覚える学習帳として使える、3. 地図を直接タッチする「地図から検索」など。これらは、デバイス技術、手書き認識技術、そして、コンテンツの新たな開発をすることで実現しています。

開発本部
コンシューマ統轄部
成木 由紀夫

